

科目名		人事管理論(Personnel Management)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	選択	講義	後期	45時間		
担当教員		【非常勤】講師 未定 (【副担当】教授 松野 成悟)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	企業を取り巻く経営環境の変化や雇用形態の多様化にともない、企業とそこで働く個人の関係にも変化が見られ始めている。 この授業では、現代の日本企業が行なっている雇用の管理を中心に取り扱い、後半では企業の人材活用について取り上げていく。								
到達目標(評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	実際の企業にあてはめて組織体系と制度の枠組みを分析・考察できる	組織体系と制度の枠組みを理解できる	様々な組織体系に関する名称を知っている	様々な組織体系の名称を知らない					
到達目標②	実際の社会で起こっている問題と照らし合わせながら、採用・異動・退職の枠組みの特徴について考察できる	採用・異動・退職の枠組みを理解できる	採用・異動・退職に関する名称を知っている	採用・異動・退職に関する名称を知らない					
到達目標③	実際の働く環境にあわせて評価・労働時間管理・ダイバーシティマネジメントの枠組みについて分析・考察できる	評価・労働時間管理・ダイバーシティマネジメントの枠組みを理解できる	評価・労働時間管理・ダイバーシティマネジメントに関する名称を知っている	評価・労働時間管理・ダイバーシティマネジメントに関する名称を知らない					
学習・教育到達目標	C②		JABEE基準1(2)		(d)-(1)				
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】									
汎用的技能【論理的思考力】				◎					
態度・志向性(人間力)【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力【エンジニアリングデザイン能力】				○					

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 人事管理の歴史	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・労務管理・人事管理・人的資源管理の違いについて理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
2	組織と制度	・企業における組織の種類について理解できる ・人事部門の組織体系について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
3	採用管理1	・要員計画について理解できる ・新規大卒者の採用プロセスについて理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
4	採用管理2	・中途採用・第二新卒・新規高卒者の採用プロセスについて理解できる ・RJP理論について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
5	異動・昇進	・配置転換について理解できる ・昇進・昇格の枠組みおよびそのパターンについて理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
6	退職管理	・退職の種類について理解できる ・退職管理および再雇用に関する様々な制度について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
7	人材育成とキャリア開発	・OJTおよびOff-JTについて理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
8	中 間 試 験		
9	試験返却・解答解説 ワーク・ライフバランス	・試験問題の解説を通じて誤りを修正できる。 ・ワークライフバランスの重要性について理解できる。	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
10	評価と報酬	・賃金の機能およびその体系について理解できる ・職能資格制度について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
11	労働時間管理	・労働時間に対する枠組みについて理解できる ・労働時間を柔軟に取り扱うための様々な制度について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
12	外部人材の活用	・契約社員・派遣社員・職場内請負社員について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
13	国際人的資源管理	・外国人雇用の背景と現実について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
14	福利厚生・労働組合	・福利厚生制度とその費用について理解できる ・労働組合の枠組みとその特徴について理解できる	テキストを予習し、授業中に配付した資料を復習する
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間